

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査 正答率及び伸びの変化

1 調査結果(小学校)

本年度		…県以上				…県以下					
		4年生		5年生		6年生					
		国語	算数	国語	伸び	算数	伸び	国語	伸び	算数	伸び
	埼玉県平均正答率	62.1	63.0	56.2	0	63.0	1	63.8	3	59.8	1
	幸手市平均正答率	65.2	65.3	52.8	-1	61.2	1	64.2	1	60.1	3
	県平均との差	3.1	2.3	△ 3.4	△ 1	△ 1.8	0	0.4	△ 2	0.2	2
令和3年度参考	R3県平均正答率	58.0	69.9	56.7	-	61.6	-	58.6	5	60.9	5
	R3幸手市平均正答率	57.9	71.5	62.0	-	60.5	-	58.0	6	63.2	4
	県平均との差	△ 0.1	1.6	5.3	-	△ 1.1	-	△ 0.6	1	2.3	△ 1

★「伸び」について  
「伸び」とは、「学力推定結果の平均値(=能力値)」を、学力を測定する尺度上で一定の間隔で分割して表したものの(レベル)を、昨年度と比較したときの差分を表します。  
この「伸び」が高いほど、昨年度からの学力の伸びが大きいと考えられ、昨年度実施時から今年度実施時までの、各学校や市教育委員会における施策の効果が検証できるものと考えられています。

①…同一学年を比較する見方

年度の違う同一の学年を比較する見方です。例では、令和3年度の小4と令和4年度の小4を比べています。令和3年度と比べ、令和4年度の小4は、国語・算数ともに、県平均正答率を上回っていることが分かります。

②…同一母集団の経年変化を調べる見方

年度をまたぎ、同一の母集団を追いかける見方です。例では、令和3年度の中2が、令和4年度に中3になった際、どのような結果になったかが示されています。令和4年度になると、令和3年度と比べ、平均正答率も伸びも、向上していることが分かります。

2 調査結果(中学校)

本年度		1年生				2年生				3年生						
		国語	伸び	数学	伸び	国語	伸び	数学	伸び	英語	国語	伸び	数学	伸び	英語	伸び
		埼玉県平均正答率	58.8	2	57.7	1	57.1	1	52.7	2	59.0	56.3	2	57.1	2	55.9
幸手市平均正答率	56.4	1	57.9	1	54.7	1	50.4	2	52.2	53.7	2	52.5	1	50.1	3	
県平均との差	△ 2.4	△ 1	0.2	0	△ 2.4	0	△ 2.3	0	△ 6.8	△ 2.7	0	△ 4.6	△ 1	△ 5.8	0	
令和3年度参考	R3県平均正答率	61.3	5	59.4	3	63.1	3	59.1	4	62.6	68.1	3	58.1	4	60.0	-
	R3幸手市平均正答率	61.1	5	56.2	1	59.4	2	52.9	2	56.5	65.1	3	49.8	2	51.0	-
	県平均との差	△ 0.2	0	△ 3.2	△ 2	△ 3.7	△ 1	△ 6.2	△ 2	△ 6.1	△ 3.0	0	△ 8.3	△ 2	△ 9.0	-

令和4年度 全体の考察

・小学校の幸手市平均正答率は、5年生以外、県平均正答率を上回った。伸びに着目すると、算数は県平均以上の伸びであったが、国語は県平均を下回る伸びであった。昨年度作成をした国語のパワーアップシート及び確認テストを活用し、国語力の確実な定着を図る必要がある。

・中学校の幸手市平均正答率に着目すると、中1の数学は県平均以上であるが、それ以外は県の平均に達していない。学力テスト前の各校へのプリント配布、強化期間の設定、授業改善、家庭での学習、スマホ等の生活環境の各側面から見直し等各種取組を行ってきたところだが、今後は分析結果を受けて、各学校への支援体制を更に考えていく必要がある。一方、伸びに着目すると、中1の国語以外は全て県平均並みに伸ばせている。令和3年度には、ほとんどの学年・教科で県平均を下回る伸びであったことから鑑みると、各校の取組の成果が一定程度表れていると考えられる。